

豪雪時における事業活動への影響・対応に関するアンケート調査

雪の多い時期にも、できるだけ安心して仕事を続けられるよう、事業者間の連携による環境改善の模索を目指したアンケート調査を行います。

通勤や営業、物流、除雪などで困ったこと、実際に役立った対応、自社だけでは難しかったことなど、事業者間の現状をお伺いし、冬季に入ってからでも、各事業所でできる備えや工夫、事業者同士で助け合えること、役立つ情報の共有など、商工会議所としてできることに取り組みたいと考えます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1. 基本情報

事業所名	
回答者の役職・氏名	

1-1 主な業種を1つ選んでください。【必須】

- ☐ 農林水産業 ☐ 建設業 ☐ 製造業 ☐ 電気・ガス・水道 ☐ 情報通信業
☐ 運輸・郵便業 ☐ 卸売・小売業 ☐ 金融・保険業 ☐ 不動産・物品賃貸業
☐ 専門・技術サービス業 ☐ 宿泊・飲食 ☐ 生活関連・娯楽 ☐ 教育 ☐ 医療・福祉
☐ その他（ ）

1-2 従業員数と主な事業内容を教えてください。【必須】

- ☐ 5人以下 ☐ 6～20人 ☐ 21～50人 ☐ 51～100人 ☐ 101～300人 ☐ 301人以上
 主な事業内容：

2. 令和7年度冬季における事業活動への影響・対応についてお伺いします。**2-1 該当した事象をすべて選んでください。【必須】 ※設問2-5で、本質問の選択肢再利用****A 従業員・通勤・人員**

- A1 ☐ 公共交通の遅延・運休 A2 ☐ 道路渋滞・除雪不足による遅刻／欠勤
 A3 ☐ 従業員用駐車場を確保できない A4 ☐ 代替要員・シフトの確保が難しい
 A5 ☐ 除雪作業で本来業務が止まる／残業が増える A6 ☐ 疲労・体調不良・除雪中のけが

B 営業・顧客・売上

- B1 ☐ 来客数・利用者数の減少 B2 ☐ 予約・受注・商談のキャンセル／延期
 B3 ☐ 営業時間短縮・臨時休業 B4 ☐ 休業・再開の判断時期に迷った
 B5 ☐ 顧客への周知が間に合わない B6 ☐ 訪問・現場対応・出張サービスができない

C 物流・仕入れ・配送・営業車

- C1 ☐ 配送遅延・集荷中止 C2 ☐ 商品・資材・原材料・燃料の不足

- C3 ☐ 搬入口・荷捌き場・構内動線が使えない C4 ☐ 郵便・宅配・廃棄物回収の遅れ
 C5 ☐ 営業車・社用車の雪下ろし／掘り出しに時間を要した
 C6 ☐ 営業車・社用車がスタック・走行不能・接触／破損
 C7 ☐ 代替ルート・配送日の調整が難しい

D 除排雪・駐車場・建物・設備

- D1 ☐ 駐車場・出入口・歩道・搬入口の除雪が追いつかない
 D2 ☐ 雪捨て場が満杯／排雪できない D3 ☐ 道路除雪後の雪山・雪の壁で出入口や視界が塞がる
 D4 ☐ 雪庇・屋根雪・落雪・つららが危険 D5 ☐ 屋根・軒・雨樋・看板等の破損／雨漏り
 D6 ☐ 非常口・避難経路・消火設備・給排気口・室外機が雪で塞がる
 D7 ☐ 水道凍結・排水不良・暖房／機械設備の不具合
 D8 ☐ 除雪業者が確保できない／費用が上がった

E 安全・インフラ・情報・判断

- E1 ☐ 転倒・落雪・車両事故などの危険 E2 ☐ 従業員・顧客の安全確認や誘導が難しい
 E3 ☐ 停電・通信障害・設備停止 E4 ☐ 道路・交通・除排雪情報が不足／更新が遅い
 E5 ☐ 社内の判断権限・連絡系統が不明確 E6 ☐ 取引先・近隣事業者との情報共有が難しい

2-2 各分野への影響の大きさを選んでください。【必須】

影響分野	0 ほぼなし	1 負担増だが継続	2 一部停止・縮小	3 継続に重大な支障
事業活動全体	☐	☐	☐	☐
従業員の出勤・勤務	☐	☐	☐	☐
営業・来客・売上	☐	☐	☐	☐
物流・仕入れ・配送	☐	☐	☐	☐
駐車場・搬入口・除排雪	☐	☐	☐	☐
建物・設備・営業車	☐	☐	☐	☐
従業員・顧客の安全	☐	☐	☐	☐
情報収集・判断・連絡	☐	☐	☐	☐

2-3 前年（令和6年度冬季）と比べた全体的な影響を選んでください。【必須】

- ☐ 大きかった ☐ 同程度だった ☐ 小さかった ☐ 比較できない／分からない

2-4 事業活動への強い影響が続いた期間を選んでください。【必須】

- ☐ 1日以内 ☐ 2～3日 ☐ 4～7日 ☐ 1～2週間 ☐ 2週間超 ☐ 断続的に複数回
☐ 分からない

2-5 事業継続に最も影響した事象を、2-1の記号から最大3つ記入してください。【必須】

※問2-1から選択(例：C1と記入⇒配送遅延・集荷中止)

第1位	記号：_____	第2位	記号：_____	第3位	記号：_____
-----	----------	-----	----------	-----	----------

2-6 追加負担や機会損失の規模を教えてください。【任意】 金額は概算で構いません。

直接的な追加費用（除排雪、残業、修繕、設備・備品、追加運賃等）

- ☐ なし ☐ 10 万円未満 ☐ 10～50 万円 ☐ 50～100 万円 ☐ 100～200 万円
☐ 200 万円～300 万円 ☐ 300 万円～500 万円 ☐ 500 万円以上 ☐ 計算困難

売上減・キャンセル・稼働低下などの機会損失

- ☐ なし ☐ 1 割未満 ☐ 1～3 割 ☐ 3～5 割 ☐ 5 割以上 ☐ 金額・割合とも計算困難

2-7 特に大きかった費用・損失の内訳を 3 つまで選んでください。【任意】

- ☐ 除雪業者・排雪費 ☐ 従業員の除雪・残業 ☐ 除雪機・器具・融雪剤
☐ 建物・設備・車両の修繕 ☐ 追加配送・代替輸送 ☐ 送迎・宿泊・タクシー等
☐ 廃棄・在庫損 ☐ 売上・受注減 ☐ その他（ ）

3. 事前の備えと、豪雪時に行った対応

3-1 令和 6 年度も豪雪で経済活動に影響が出たとされる期間がありましたが、昨年、令和 7 年度冬季に向け、事前に行っていた備えがあったら選択をしてください。【必須】

- | | |
|--|--|
| ☐ 出勤・遅刻・早退・休業の判断基準 | ☐ 在宅勤務・時差出勤の仕組み |
| ☐ 従業員への連絡・安否確認 | ☐ 送迎・宿泊等の代替通勤手段 |
| ☐ 前倒し発注・在庫確保 | ☐ 代替仕入先・代替配送ルート |
| ☐ 除雪業者との事前契約 | ☐ 社内除雪の役割・優先順位 |
| ☐ 雪捨て場・排雪先の確保 | ☐ 除雪機・スノーダンプ・融雪剤等 |
| ☐ 雪庇・屋根雪・落雪の点検／除去体制 | ☐ 顧客・取引先への情報発信手段 |

3-2 豪雪時に実際に行った対応を選んでください。【必須】

- | | |
|--|--|
| ☐ 時差出勤・在宅勤務・出勤見合わせ | ☐ 早退・休業・営業時間変更 |
| ☐ 従業員の送迎・宿泊・安全確認 | ☐ 顧客への事前連絡・SNS／HP 等での周知 |
| ☐ 予約変更・訪問延期・代替サービス | ☐ 前倒し発注・在庫配分・代替調達 |
| ☐ 配送日の変更・代替ルート・共同配送 | ☐ 営業車の運行制限・チェーン／牽引具等 |
| ☐ 従業員除雪・除雪業者への追加依頼 | ☐ 出入口・搬入口・非常口等の優先除雪 |
| ☐ 雪庇・屋根雪・つららの点検／除去・立入規制 | ☐ 近隣事業者との除雪・情報共有 |

3-3 事前の備え・実施対応は、全体としてどの程度効果がありましたか。【必須】

- ☐ 十分に機能した ☐ ある程度機能した ☐ どちらともいえない ☐ あまり機能しなかった ☐ 機能しなかった

3-4 今冬の雪対策で、自社で最も効果があった備えや対応を 1 件教えてください。【任意】

対応の内容	
実施のきっかけ・判断材料	
得られた効果	☐ 事業継続 ☐ 安全確保 ☐ 売上・顧客対応 ☐ 物流 ☐ 除排雪負担 ☐ 判断・情報共有 ☐ その他
他社が再現するための条件	☐ ルール整備 ☐ 人員 ☐ 費用 ☐ 設備・備品 ☐ 事前契約 ☐ 取引先調整 ☐ 近隣連携 ☐ その他

4. うまくいかなかったこと・個社対応の限界

4-1 実施した対応で、課題が残ったものを全て選んでください。 【必須】

- ☐ 出勤・休業の判断が遅れた／人により判断が違った
- ☐ 在宅勤務・時差出勤が業務上使えなかった
- ☐ 除雪に人員を取られ、本来業務が止まった
- ☐ 除雪業者・重機・排雪先を確保できなかった
- ☐ 雪庇・屋根雪等の危険対応を専門業者に頼めなかった
- ☐ 駐車場・搬入口・非常口等の優先順位が決まっていなかった
- ☐ 営業車のスタック・運行判断への備えが不足した
- ☐ 在庫・代替調達・配送調整が間に合わなかった
- ☐ 顧客・従業員・取引先への周知が遅れた
- ☐ 道路・除雪・危険箇所の情報が不足した
- ☐ 特になし

4-2 個社だけでは対応が難しかったことを最大3つ選んでください。 【必須】

- ☐ 除雪にあてる人手が足りなかった
- ☐ 自社で使える除雪機・重機等が不足していた
- ☐ 除雪業者に依頼したかったが、手配できなかった
- ☐ 雪を捨てる場所や排雪の手段を確保できなかった
- ☐ 雪庇・屋根雪・落雪など、専門的な対応が必要だった
- ☐ 従業員の通勤手段や送迎を自社だけで確保できなかった
- ☐ 物流・仕入れ・配送の遅れに自社だけでは対応できなかった
- ☐ 道路状況、交通状況、除排雪状況などの情報を十分に把握できなかった
- ☐ 駐車場、出入口、搬入口などの確保・除雪が自社だけでは難しかった
- ☐ 除雪費、追加人件費、修繕費などの負担が大きかった
- ☐ 休業、営業時間短縮、営業再開などの判断が難しかった
- ☐ 顧客、取引先、従業員への連絡・調整が難しかった
- ☐ 近隣事業者や取引先と協力する体制がなかった
- ☐ 特になし
- ☐ その他（ ）

4-3 個社だけでは対応が難しかったことを解決するためには、どのような取組が必要だと思いますか。最大3つ選んでください。 【必須】

- ☐ 同業種・異業種の事業者による情報共有の場
- ☐ 近隣事業者同士で除雪や駐車場利用を相談できる仕組み
- ☐ 豪雪時に参考となる対応事例やチェックリストの共有
- ☐ 出勤、休業、営業時間変更などの判断基準づくりの支援
- ☐ 従業員への連絡・安否確認方法の整理
- ☐ 顧客・取引先への周知文例や情報発信方法の共有
- ☐ 物流・仕入れ・配送が止まった場合の代替対応の事例共有
- ☐ 除雪業者、設備業者、修繕業者など民間事業者情報の共有
- ☐ 雪庇・屋根雪・落雪など危険箇所への対応方法の共有

- ☐ 除雪機、備品、融雪剤等の共同利用・共同購入の検討
- ☐ 豪雪時の事業継続に関する勉強会・研修会
- ☐ 業種ごとの対応マニュアルや簡易ルールの作成
- ☐ 特になし
- ☐ その他（

4-4 検討したが実施できなかった対応がありましたら、教えてください。【任意】

検討した内容	
実施できなかった理由	☐ 人員不足 ☐ 費用 ☐ 準備不足 ☐ 判断基準なし ☐ 設備・備品不足 ☐ 業者不足 ☐ 情報不足 ☐ 安全面 ☐ 業務上困難
来冬の意向	☐ 実施したい ☐ 条件が整えば実施したい ☐ 実施は難しい ☐ 分からない

5. その他

5-1 その他、本調査に関連しご共有されたいことなどありましたら、ご記入ください。



アンケートは以上となります。
ご協力ありがとうございます。

青森商工会議所